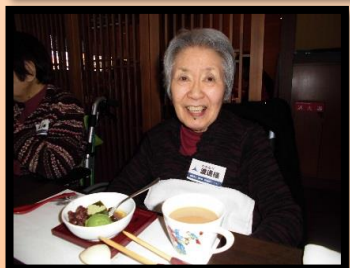
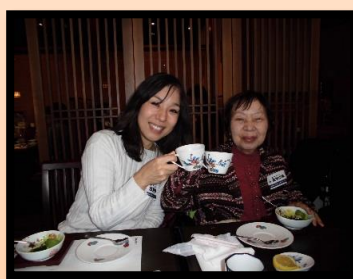


お知らせ

第3回 青木会 合同レクリエーション

青木会合同レクリエーションも第3回を迎えました。前回に引き続き、さいたま芸術劇場で行われた寄席をご利用者に楽しんでいただきました。



お体の状況によって外出を控えている方もいらっしゃるかと思います。今後もイベントを企画していく予定ですので、是非ご利用ください。

リハビリの家 東浦和

5時間利用サービスがスタート!!

デイサービス【リハビリの家 東浦和】では、1月より5時間利用のサービスが始まりました。朝から夕方までのデイサービスでは疲れてしまう方、午前中や午後だけの短時間では物足りない方、早起きが苦手な方など、今までデイサービスの時間帯でお悩みだった方にはちょうど良いサービスかもしれません。近隣にお住まいの方は是非ご相談ください。

『リハビリの家 東浦和』

- ・住所 さいたま市緑区芝原1-13-5
- ・TEL 048-810-6116
- ・提供時間 午前10時～午後3時
- ・対象 要介護認定を受けている方で状態により応相談
- ※ 昼食代が別途かかります。



■発行:医療法人青木会 ■発行人:青木悟
■編集者:臼杵壮志 ■編集:広報委員会
■内容に関するお問い合わせは地域連携室まで
TEL:048-423-0293

リハビリの家 各施設

リハビリの家の各施設では、2月3日に節分の豆撒きを行いました。各施設ごとに工夫をこらしてご利用者の厄を払い、福を呼び込んでいました。



← リハビリの家北浦和
豆をカラーボールに変えるなど投げやすい工夫が見られますね。

リハビリの家西浦和 →
鬼役の職員も楽しみながら鬼を演じられたようです。ご利用者の笑顔が目に見えます。



← リハビリの家東浦和
リハビリの合間に「鬼は外」! 厄を払うのもリハビリのうち?

新入職員(常勤)のご紹介

青木中央クリニック

船山 いずみ (医師)
浅川 岳士 (医師)
山中 妙子 (看護師)
佐藤 奈緒 (歯科衛生士)

リハビリの家 北浦和

寺田 真理 (介護スタッフ)

現在募集中

...調理師、看護師(病棟、外来、在宅診療、訪問看護、施設等)、介護職、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、医療事務
※いずれも勤務地はさいたま市・川口市内。
ご興味をお持ちの方はお気軽にお問い合わせください! TEL 048-423-0631 中原

私たちは 地域のみなさまの 良質で安心・安全な 医療・介護へのために「技」と「心」で応え
全ての人が満足し納得できる 医療・介護を提供いたします。

あおきだより

2018.3月発行 (隔月発行)

Vol.
15

『第1回 地域認知症セミナー開催』



全国的に高齢化が進んでいることは皆様御存知かと思いますが。その中でもさいたま市・県南地区は全国において1・2を争う加速度で高齢化が進んでいます。これに伴い、認知症を患う住民の増加も日々進み、介護に携わる職種だけでなく、なによりご家族の皆さまが不安をお持ちではないでしょうか。

この度、青木会は地域における認知症ケアの質を高めたいという願いから、2月15日に第1回地域認知症セミナーを開催いたしました。基調講演として仙台富沢病院理事長・東北大学医学部老年科臨床教授の藤井雅彦先生をお招きし、認知症ケアについてお話をいただきました。その他、当法人から4題、仙台富沢病院の職員から1題の認知症に係る事例発表を行いました。



基調講演「認知症は怖くない! 認知症情動療法のすすめ」

認知機能は仕事を円滑に進めるための知識であり生活の道具です。それに対し、情動機能は人の痛みがわかる思いやりや、人間性など社会生活を円滑に進めるための知能なのです。認知症では認知機能が低下していますが、怒り、泣く、喜ぶなどの情動機能は比較的保たれています。認知症患者さんにとっては、認知機能より情動機能が保たれていることが社会生活を円滑に進めるために大切だと考えられます。

認知症情動療法は保たれている情動機能に良い刺激を繰り返すことにより、情動機能の低下を予防し社会生活をできるだけ長く明るく豊かに送っていただくようにする方法です。大脳辺縁系一情動機能に良い刺激(感動)を加えることで認知症の問題行動を軽減させ豊かな気持ちで生活を送ることが可能なのです。
(認知症情動療法協会HPより一部抜粋)



今号の内容

- ・第2回 青木事例発表会
- ・あおきスタッフ紹介 ... 青木中央クリニック リハビリテーション科
- ・現語 “知ってほしいこの言葉” ... 最終回「認知症情動療法」
- ・かがや理学療法士のミニ健康教室 ... 「体幹筋を鍛えましょう! ~第5弾~」
- ・お知らせ
- ・表紙 ... 第1回 地域認知症セミナー開催

青木事例発表会開催！



- ①青木リハビリセンター東浦和
「笑門に福が来るよ」
②青木中央クリニック 通所リハビリセンター
「介護職からの活動・参加へのアプローチ」
③青木中央クリニック リハビリテーション科
「外来リハにおける地域への取り組み
～体操教室を通して～」
④青木医院 訪問リハビリテーション部門
「認知症の二人暮らしの在宅生活の検討」

2月15日に青木中央クリニックにて当法人における事例発表会が開催されました。今回発表した部署と演題は右上の通りです。今回の演題の中で最優秀賞に輝いたのは②の青木中央クリニック 通所リハビリセンターでした。

【概要】センター内の【個別】【運動】【活動・参加】のエリアの内【活動・参加】エリアで身体機能の回復だけではなく生活・生きがい意識したリハビリテーションを提供し、「してもらう」から「やれることを探す・行う」ことの提案を行いました。体操・作業活動・外出・調理などの他、様々な週替りのプログラムを用意することで利用者様の多様性に合わせた生活支援を実施しました。経過として一部抜粋しますと、外出練習を通して自信が付き、階段がある場所に食事に行けるようになったなど、生活の幅が広がった利用者様が多数いらっしゃいました。

あおきスタッフ紹介

今号では 青木中央クリニック【リハビリテーション科】

(埼玉県川口市柳崎3-7-24)の職員をご紹介します！



名前 飯田 弘晃
出身地 埼玉県蕨市
好きなこと バレーボール

ひとこと：青木中央クリニックリハビリテーション科も開設より6年目を迎えることができました。若いスタッフも増え、より多くの患者様を受け入れる体制となりました。私自身、スポーツで怪我をして手術を経験しております。同じように苦労されている患者様のお気持ちがわかりますので、お気軽に運動や体操に関する相談を頂けるようお待ちしております。



名前：関 洋亮
出身地：埼玉県白岡市
好きなこと：スポーツ全般
ひとこと：スポーツ&コンディショニング認定専門員の資格を所持しています。スポーツでお困りの方がいましたら、ぜひ青木中央クリニック外来リハビリまでお越しください。



名前：片山 智尋
出身地：大阪府
好きなこと：映画鑑賞
ひとこと：入院部門のリハビリを担当しています。他部門と連携し、主に機能面や生活動作からのアプローチを行っています。患者様がスムーズに退院出来るようサポートいたします。



最終回

” 知ってほしいこの言葉 ”

” 認知症情動療法 ”

心地の良い毎を送りましょう！

ヒトの脳は加齢とともに少なからず萎縮をし、そのため物忘れや、以前と比べて判断が遅くなるなどの影響が出てきます。それでも幸せな日々を送る方は世の中に沢山いらっしゃいます。

私たちの脳には、大きく分けて「認知機能（IQ）：記憶、計算など」と「情動機能（EQ）」があります。それらは密接に影響しあって機能していますが、脳の別の部位にあります。認知症によってIQが低下しているからといって、EQも低下しているとは限らないのです。近年の研究により、EQ機能の状態により、認知症の方の症状に違いがみられることがわかってきました。また、EQにより刺激を与えると、認知症特有の徘徊や暴言暴力などの問題行動が減り、認知機能にもよい影響が及ぶことも論文発表されました。これらをもとに明るく尊厳のある生活を送っていただくことを目的に生まれた療法です。手段として視覚、嗅覚、聴覚、味覚、触覚の五感に心地よいものが良いとされています。具体的には、演劇や朗読などの芸術を楽しむ、コーヒー豆を挽いた時の香りを嗅ぐ、背中の中柱「しんちゅう」という経絡を優しく刺激する、優しく抱擁をして安心させてあげることなど様々な方法があります。実践するうえで、相手のことを考え、気持ちに寄り添う「マインド」が大前提となります。これらは時として薬以上の効果を発揮します。「安心」できるサポートをみんなで実践しましょう！

今回「現語」が最終回となります。どうもありがとうございました！ 事務次長 中原大輔

かがや理学療法士の
三二健康教室

体幹筋

を鍛えましょう！！
～第5弾～毎日少しずつでも
続けることが大切です！『ニートゥーエルボー』 斜めの腹筋の筋力UP
【やり方】

- ① スタートポジション
手は頭の後ろに。頭・骨盤・踵までを一直線に！
- ② 肩甲骨が少し浮くまで頭を挙げる（目線は指先）
- ③ 身体を捻りながら股関節を持ち上げ対側の膝と肘を合わせる
- ④ ゆっくり頭と足を下ろしスタートポジションに戻る

【Point】

・反動や勢いを使わずにゆっくりと行いましょう。



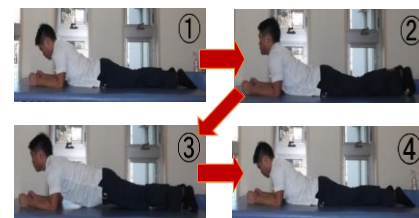
『プランク』 ～腹筋と背筋の筋力UP～

【やり方】

- ① スタートポジション
うつ伏せになり肘を立てる（肩甲骨の真下に肘がくるように）
- ② 次につま先も立てる
- ③ 膝と腰を持ち上げ体を一直線に
- ④ ゆっくりスタートポジションへ戻る

【Point】

・身体を一直線にしましょう。お尻が上がり過ぎず、腰が反らないように注意しましょう。



青木医院 理学療法士 加賀屋 奈緒

